

磐城時報

行發日九十

編輯兼發行 田中弘成
印刷所 磐城時報社
印刷 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金五銭 一月金廿五銭
廣告料 一行十文字五銭
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

子寶部隊長の筆頭は 大浦村の高木鶴治さん

見よ夫妻の健康ぶり

天長節を卜して十人以上の子寶を持つ一家が
晴れの厚生大臣賞を贈られるが、平市及び石
城郡下では縣下随一の大浦村高木鶴治さん
始め四十二家族である。

縣下隨一、十四名の子寶部隊長である、以下鶴治さんと記者の
として推察された石城郡大浦村一問一答
上仁井田宇北濱一五農高木鶴
治さんを訪ねると驚いた、長男
かなと思つたらそれが部隊長の
鶴治さん(六〇)四十歳としか見
えぬかくしやく子寶、妻ジン
ん(五八)との間の子寶は
五次郎(四〇)勇(三七)サキ
(三五)ミドリ(三三)巧(三一)
忍(二九)勝(二七)貴兵(二
五)加納(二三)高義(二二)高
行(一九)カシ子(一七)美穂子
(一三)明德(一〇)

十三人の開場家 育児の苦心を語る

さん達の男九人、女五人、娘は
二人を養つて嫁いだが、息子さ
ん達は長男五次郎さんが家を
つてゐる外勇さん、忍さんは應
召して最近解除となつたばかり
殊に忍さんは去年十二月九月事
變勃發直後中支に渡り田中(勝)
部隊に屬し足かけ四年死線を突
破した勇士、巧さん、貴兵さん
は滿洲武裝移民として大陸沃野
に産業勇士として活躍してゐる
高義君は本年徴兵検査に合格、〇
の家は系圖三代吉さん(七
御奉公の日も間近いと張切つて
ゐる、軍國一家とは羨しい限り
露された以前は附近の灌漑水は
六六)との間に十三人を産み

あす平市に展開される スポーツの豪華繪巻

スポーツの豪華繪巻

あす二十日は日曜日と公休日
重なり各種の催し事、平市を
中心に賑はひを見せるであらう
が、縣健康促進健康保険被保
険者陸上競技大会は午前八時か
ら磐城陸上競技場で高松警察部長
臨席の下に開校される
縣下三百工場から一千名の産
業選手参加の一大豪華繪巻
巻を展開するであらう。同日

下から見た新體制

木村 淳一

先づ開頭のことわつておき
たいのは、私はここで今更ら
しく新體制を批判検討しよう
とするのではないといふ事
である。何故なら、所謂近衛新
體制が出現するに際しては、出
現するだけの客觀情勢が備は
る、といふよりも、さうした
客觀情勢に對しては、今の場
合、かく具現充足を見た「新
體制」が最も賢明妥當な方策
なるが故に、断り出現だ

北部土木請負業者が 産業報國會結成

抗陸上競技が行はれる。この
運動會の催はしがあ
外郡下でも青年團、小學校の
遊廓に行く途中で逮捕したが本
署に連行の途中兩名は手錠を外
して逃げる頭部を殴り逃走を企
て格闘の上再び捕へられ十八日
強盗並に公務執行妨害で送検。

四百圓で 分會旗寄附

大野村宇山田在郷軍分會長木
村淑雄氏は同村の分會旗が使用
に耐へなくなつたので四百圓を
投じ購入し二千六百年記念とし
て寄附

官行製炭 従業員表彰

種田營林署管内田村才鉢の官
行製炭所では十八日従業員慰安
會を開き左の勤績従業員の表彰
を行つた
▲二十年佐藤次郎▲十九年
本多庄一▲松崎六郎▲十八年
花澤佐一郎▲吉内貞太郎▲清
水廣吉▲十四年阿部徳衛▲伊
藤伸藏▲十三年淵澤重次郎
加藤勇▲十三年藤田徳藏▲門馬
伊佐次▲藤田正

追刺未遂

好間村日賣炭礦坑夫前科一犯
佐藤武美(二二)同若手縣生れ佐
藤一美(二二)の兩名は十六日夜
平野町市四丁目自來水通りの
暗がり、平野町市四丁目自來水
工青木三郎君(二三)及び山本義
春(二〇)を矢面に下駄で殴り、
け山本の帽子と青木の衣類及び
現金十八圓を強奪逃走せんとし
たが平野町市四丁目自來水通
りの新川町青年一團

染色講習會

市東部青年團では衣類の更生に
よる廢品活用の實をあげるため
二十日午前九時から午後四時
で第三小學校にみやこ染本舗技
師東崎武氏を招き「染色と洗濯
法の講習會」を開く、會費は無
料、講習科目は染料と繊維につ
いて(講習)無地染の仕方と色抜
きの仕方(實演)毛類やスワフの
洗濯法、會員各自實習友誼染の
たのを平野町市四丁目自來水通
りの新川町青年一團

たす態のものでなしに、われ
が既に日々得得しつゝあ
る現實問題として、何ういふ
意味からしても、われわれの
生活視野に一段の迫眞性をも
たらしつゝあるところのもの
である。
くどいやうであるがわれわれ
は既に「新體制」といふ大き
な歴史的轉換の輪の中にあり
謂はゞその實踐者であり、開
拓者でもある。それがために
は今日までの體驗と。將また
將來の方面に鑑みて、その
開一音あつてしかるべきにお
もうのだ
以上を大さうもない表題を

四百圓で 分會旗寄附

大野村宇山田在郷軍分會長木
村淑雄氏は同村の分會旗が使用
に耐へなくなつたので四百圓を
投じ購入し二千六百年記念とし
て寄附

官行製炭 従業員表彰

種田營林署管内田村才鉢の官
行製炭所では十八日従業員慰安
會を開き左の勤績従業員の表彰
を行つた
▲二十年佐藤次郎▲十九年
本多庄一▲松崎六郎▲十八年
花澤佐一郎▲吉内貞太郎▲清
水廣吉▲十四年阿部徳衛▲伊
藤伸藏▲十三年淵澤重次郎
加藤勇▲十三年藤田徳藏▲門馬
伊佐次▲藤田正

追刺未遂

好間村日賣炭礦坑夫前科一犯
佐藤武美(二二)同若手縣生れ佐
藤一美(二二)の兩名は十六日夜
平野町市四丁目自來水通りの
暗がり、平野町市四丁目自來水
工青木三郎君(二三)及び山本義
春(二〇)を矢面に下駄で殴り、
け山本の帽子と青木の衣類及び
現金十八圓を強奪逃走せんとし
たが平野町市四丁目自來水通
りの新川町青年一團

染色講習會

市東部青年團では衣類の更生に
よる廢品活用の實をあげるため
二十日午前九時から午後四時
で第三小學校にみやこ染本舗技
師東崎武氏を招き「染色と洗濯
法の講習會」を開く、會費は無
料、講習科目は染料と繊維につ
いて(講習)無地染の仕方と色抜
きの仕方(實演)毛類やスワフの
洗濯法、會員各自實習友誼染の
たのを平野町市四丁目自來水通
りの新川町青年一團

わかれの如く、單に一市
井人として生活するものにと
つて第一に考へさせられる
は、此處、政府當局から斷乎
として定められた一般物資の
公定價格に對し、肝腎な物資
そのものが質量とか、値段と
かに對して、果して公正な均
衡を保つてゐるか、どうかと
いふ事である。
安直な例をとつてみよう。
此處の公定價で、コーヒ
が一杯(詳しくは分量何合何
さ)。

